

収支計算書に対する注記(案)

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、貯蔵品、ブロック活動費前払金、部会活動費前払金、立替金、前受金、預り金および未払法人税等を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	3,266,640	4,152,439
貯 蔵 品	4,000	4,000
ブロック活動費前払金	573,607	1,270,065
部会活動費前払金	211,960	993,795
立 替 金	607	4,573
合 計	4,056,814	6,424,872
前 受 金	57,489	0
預 り 金	224,288	226,436
未 払 法 人 税 等	70,000	0
合 計	351,777	226,436
次期繰越収支差額	3,705,037	6,198,436

3. 表示の変更

(1) 表示科目の変更

従来、収支計算書の『全法連助成金振替額収入』として科目表示していた全法連からの助成金は、明りょう性の原則により『全法連助成金収入』として科目表示するよう変更している。

(2) 表示方法の変更

従来、収支計算書の事業活動支出に係る事業費支出は『公益目的事業支出』及び『収益事業等支出』として区分して表示していたが、これらを一括して『事業費支出』として表示するよう変更している。

また、事業活動支出に係る管理費支出は『法人会計支出』として表示していたが、『管理費支出』として表示するよう変更している。